

平成20年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年 11月6日

上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 2702 URL <http://www.mcd-holdings.co.jp/>
 代表者 役職名 代表取締役会長兼社長兼 氏名 原田 泳幸
 最高経営責任者(CEO)
 問合せ責任者 役職名 CR担当上席執行役員 氏名 下平 篤雄 TEL:(03)6911-6061

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年12月期第3四半期の連結業績 (平成20年1月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年 12月期 第3四半期	307,811	3.7	14,250	3.2	13,562	3.2	9,785	49.7
19年 12月期 第3四半期	296,954	12.1	13,812	129.7	13,142	174.4	6,537	396.0
19年 12月期	395,061	11.1	16,733	126.7	15,616	173.6	7,819	404.7

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年 12月期 第3四半期	73	60	—	—
19年 12月期 第3四半期	49	17	—	—
19年 12月期	58	81	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年 12月期 第3四半期	197,234	136,955	69.4	1,029 37
19年 12月期 第3四半期	195,743	131,755	67.3	990 27
19年 12月期	201,303	133,247	66.1	1,001 50

(参考) 自己資本 20年12月期第3四半期 136,864 百万円 19年12月期第3四半期 131,665 百万円
 19年12月期 133,159 百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況 (平成20年1月1日～平成20年9月30日)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金 同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年 12月期 第3四半期	8,518	△ 12,152	1,120	9,475
19年 12月期 第3四半期	20,790	△ 14,142	△ 4,304	13,680
19年 12月期	24,337	△ 21,855	△ 1,812	12,005

2. 配当の状況

当社は、第1四半期末及び第3四半期末を基準日とした配当を行っておりません。

配当予想に関しましては、平成20年8月7日に発表した平成20年12月期の予想を変更しておりません。

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
平成19年12月期	—	30 00	30 00
平成20年12月期	—	—	30 00
平成20年12月期(予想)	—	30 00	—

3. 平成20年12月期の連結業績予想 (平成20年1月1日～平成20年12月31日)

平成20年5月13日に公表した業績予想を変更していません。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通 期	412,000	4.3	19,500	16.5	17,500	12.1	11,500	47.1

	1株当たり当期純利益	
	円	銭
通 期	86	49

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 (内容) 法人税等の計上基準については簡便な方法を採用しています。 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。 : 無

(参考)

(1) 平成20年12月期の個別業績予想 (平成20年1月1日～平成20年12月31日)

平成20年5月13日に公表した業績予想を変更していません。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通 期	55,000	0.8	1,000	27.2	1,000	△ 2.2	1,800	242.1

	1株当たり当期純利益	
	円	銭
通 期	13	54

(2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 20年12月期第3四半期 132,960,000 株 19年12月期 132,960,000 株
- ② 期末自己株式数 20年12月期第3四半期 200 株 19年12月期 198 株
- ③ 期中平均株式数 20年12月期第3四半期 132,959,801 株 19年12月期 132,959,802 株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページの【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの基幹ビジネスであるハンバーガーレストラン事業では、平成16年以後、顧客満足度の向上にむけて、QSC(信頼の品質、スピーディで心地よいサービス、清潔で快適な環境)の向上というレストランビジネスの基本に取り組んでまいりました。また、グローバル化を推進し全世界の成功事例を日本に展開してきたことや、積極的な投資の継続、顧客拡大戦略の徹底、人材の意識向上による企業改革の推進等を行ってまいりました。

当第3四半期(1月～9月)においては、下記の8つの施策を行ってまいりました。

- ① QSCの更なる向上
- ② 「プレミアムローストコーヒー」「プレミアムローストアイスコーヒー」「メガマフィン」等の新商品の投入
- ③ 「シャカシャカチキン」投入によるバリューメニューの強化
- ④ 24時間営業の拡大(当第3四半期末現在 1,486店舗)
- ⑤ 快適な食事空間を提供するための店舗改装(当第3四半期累計改装店舗数 186店舗)
- ⑥ 人材開発への投資
- ⑦ e-マーケティングの拡大
- ⑧ フランチャイズ化の促進(当第3四半期末現在 1,245店舗、前期末比173店舗の増加)

また、店舗展開につきましては、以下のとおりとなっております。

区分	前期末現在	新規出店	閉店	区分移行(注)	当第3四半期末現在
直営店舗数	2,674店	42店	△52店	△170店	2,494店
フランチャイズ店舗数	1,072店	14店	△11店	170店	1,245店
合計店舗数	3,746店	56店	△63店	—	3,739店

(注) 区分移行につきましては、直営店舗からフランチャイズ店舗への移行店舗数とフランチャイズ店舗から直営店舗への移行店舗数を合計した純額の数字であります。

上記のような活動の相乗効果により、当第3四半期累計の業績は、既存店売上高の前年比2.9%増加、既存店客数の前年比5.2%増加と堅調に推移しております。また、システムワイドセールス(直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高)は、3,847億57百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。

これらの結果、当社グループの連結売上高は、3,078億11百万円(前年同四半期比3.7%増)となりました。

一方、経費面につきましては、原材料費の高騰やアルバイトの時給の上昇といった利益を圧迫する要因がございましたが、販売価格の見直しや生産性の向上により売上総利益の売上高比率は前年同四半期比0.4ポイント改善いたしました。

販売費及び一般管理費においては、厳しいマーケット環境において、客数シェア増大のために積極的なマーケティング投資を行い、また、より一層の効率化を目指し、インフラシステムを整えるためにIT投資を計画通り行ったことにより、対前年比26億26百万円の増加となっております。

以上より、**営業利益**は142億50百万円(前年同四半期比3.2%増)、**経常利益**は135億62百万円(前年同四半期比3.2%増)となりました。

また、当社の連結子会社である日本マクドナルド株式会社と日本トイザラス株式会社間での訴訟が解決し、特別利益として和解金収入13億78百万円を計上したこと及び日本トイザラス株式会社等の株式を売却し、投資有価証券売却益を25億82百万円を計上したこと等により、**四半期純利益**は97億85百万円(前年同四半期比49.7%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ40億68百万円減少の1,972億34百万円となりました。これは、当社グループでは更なる経営効率化のためのシステムインフラの再構築を行っており、新たにソフトウェアを取得したことによりソフトウェアが43億4百万円増加した一方で、法人税等及び剰余金の配当の支払い等により現金及び預金が25億29百万円減少したこと、投資有価証券の売却により投資有価証券が33億86百万円減少したこと、加えて敷金・保証金の回収により敷金・保証金が15億85百万円減少したことなどが要因であります。

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は前連結会計年度末比25億29百万円減少し、94億75百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、85億18百万円となり、前年同四半期比122億72百万円の収入減少となりました。この収入減少の主な要因として、その他負債の増減額が前年同四半期比78億円減少したこと及び法人税等の支払額が前年同四半期比75億78百万円増加したことがあげられます。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、121億52百万円となり、前年同四半期比19億89百万円の支出減少となりました。これは、情報システムの開発による支出が前年同四半期比43億30百万円増加したものの、店舗設備等の売却による収入が前年同四半期比35億57百万円増加したこと及び、投資有価証券の売却による収入が前年同四半期比27億2百万円増加となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、11億20百万円となりました。前年同四半期では43億4百万円の使用でありました。これは、短期借入金の純増減額が前年同四半期比55億円増加になったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの連結業績は、概ね業績予測公表時の計画どおり順調に推移しております。しかしながら、経済環境としては、世界的な金融危機と石油関連製品などの価格上昇により消費者心理は一層冷え込んでおり、景気後退の懸念が高まる厳しい環境となっております。また、当社グループと直接関連する原材料価格の上昇についても、さらなるコストアップの可能性が高まっております。当社グループではそれらのインパクトを吸収するために、今後も顧客数拡大戦略の徹底、直営店舗のフランチャイズ化の推進、QSCの更なる向上などの施策を行い、加えて店舗運営の効率化を追求していくことにより、予想値の達成を目指してまいります。

従いまして、平成20年5月13日に公表した業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無

四半期連結財務諸表の作成に際しては、中間連結財務諸表規則に準拠しておりますが、以下の事項については簡便な手続きを採用しております。

・法人税等の計上基準

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無

該当事項はありません。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前第3四半期 (平成19年9月30日)		当第3四半期 (平成20年9月30日)		前連結会計年度 (平成19年12月31日)		増減 (△印減)	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	増減率 %
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	13,680		9,475		12,005		△ 2,529	
2. 売掛金	8,156		7,741		9,050		△ 1,308	
3. たな卸資産	2,114		2,959		2,871		87	
4. 繰延税金資産	1,888		2,666		2,555		111	
5. その他	5,417		4,885		5,729		△ 844	
貸倒引当金	△ 165		—		△ 69		69	
流動資産合計	31,092	15.9	27,729	14.1	32,143	16.0	△ 4,414	△ 13.7
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物及び構築物	43,245		42,207		44,634		△ 2,426	
(2) 機械及び装置	10,780		10,509		10,673		△ 164	
(3) 工具器具及び備品	7,722		10,545		8,120		2,425	
(4) 土地	17,277		17,277		17,277		—	
(5) 建設仮勘定	354		755		910		△ 155	
有形固定資産合計	79,380	40.5	81,295	41.2	81,615	40.5	△ 320	△ 0.4
2. 無形固定資産								
(1) のれん	1,089		1,723		1,387		336	
(2) ソフトウェア	5,374		11,925		7,621		4,304	
(3) その他	778		775		777		△ 1	
無形固定資産合計	7,242	3.7	14,425	7.3	9,785	4.9	4,639	47.4
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	3,467		398		3,784		△ 3,386	
(2) 長期貸付金	24		12		19		△ 7	
(3) 繰延税金資産	3,108		3,912		2,613		1,298	
(4) 敷金・保証金	65,398		62,478		64,064		△ 1,585	
(5) その他	7,005		7,835		8,111		△ 276	
貸倒引当金	△ 976		△ 852		△ 835		△ 17	
投資その他の資産合計	78,028	39.9	73,784	37.4	77,758	38.6	△ 3,974	△ 5.1
固定資産合計	164,651	84.1	169,505	85.9	169,159	84.0	345	0.2
資産合計	195,743	100.0	197,234	100.0	201,303	100.0	△ 4,068	△ 2.0

(注) 増減は当第3四半期と前連結会計年度との比較で表示しております。

(単位:百万円)

科 目	前第3四半期 (平成19年9月30日)		当第3四半期 (平成20年9月30日)		前連結会計年度 (平成19年12月31日)		増 減 (△印減)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増減率
(負 債 の 部)		%		%		%		%
I 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	17,325		10,578		12,596		△ 2,017	
2. 短期借入金	2,500		10,000		5,000		5,000	
3. 未払金	11,553		13,125		19,605		△ 6,479	
4. 未払費用	9,550		8,924		9,830		△ 905	
5. 未払法人税等	4,640		4,477		5,996		△ 1,519	
6. 賞与引当金	3,811		3,777		2,021		1,755	
7. その他	11,223		5,805		9,549		△ 3,744	
流動負債合計	60,605	31.0	56,688	28.8	64,599	32.1	△ 7,911	△ 12.2
II 固定負債								
1. 長期借入金	500		500		500		—	
2. 退職給付引当金	1,935		2,196		2,007		189	
3. 役員退職慰労引当金	93		112		99		13	
4. 再評価に係る 繰延税金負債	508		508		508		—	
5. その他	344		272		340		△ 67	
固定負債合計	3,382	1.7	3,590	1.8	3,455	1.7	135	3.9
負債合計	63,987	32.7	60,279	30.6	68,055	33.8	△ 7,776	△ 11.4
(純 資 産 の 部)								
I 株主資本								
1. 資本金	24,113	12.3	24,113	12.2	24,113	12.0	—	
2. 資本剰余金	42,124	21.5	42,124	21.4	42,124	20.9	—	
3. 利益剰余金	68,942	35.2	76,021	38.5	70,224	34.9	5,796	
4. 自己株式	△ 0	△ 0.0	△ 0	△ 0.0	△ 0	△ 0.0	△ 0	
株主資本合計	135,180	69.0	142,258	72.1	136,462	67.8	5,796	4.2
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	1,748	0.9	—	—	1,937	1.0	△ 1,937	
2. 繰延ヘッジ損益	△ 22	△ 0.0	△ 152	△ 0.1	1	0.0	△ 154	
3. 土地再評価差額金	△ 5,240	△ 2.7	△ 5,240	△ 2.6	△ 5,240	△ 2.6	—	
評価・換算差額等合計	△ 3,514	△ 1.8	△ 5,393	△ 2.7	△ 3,302	△ 1.6	△ 2,091	63.3
III 少数株主持分	89	0.1	90	0.0	88	0.0	2	2.3
純資産合計	131,755	67.3	136,955	69.4	133,247	66.2	3,707	2.8
負債純資産合計	195,743	100.0	197,234	100.0	201,303	100.0	△ 4,068	△ 2.0

(注) 増減は当第3四半期と前連結会計年度との比較で表示しております。

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前第3四半期 (自 平成19年1月1日 至 平成19年9月30日)		当第3四半期 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)		増 減 (△印減)		前連結会計年度 (自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
I	売上高	296,954	100.0	307,811	100.0	10,856	3.7	395,061	100.0
II	売上原価	249,154	83.9	256,947	83.5	7,792	3.1	331,020	83.8
	売上総利益	47,799	16.1	50,864	16.5	3,064	6.4	64,040	16.2
III	販売費及び一般管理費	33,987	11.4	36,613	11.9	2,626	7.7	47,307	12.0
	営業利益	13,812	4.7	14,250	4.6	437	3.2	16,733	4.2
IV	営業外収益	982	0.3	714	0.2	△ 267	△ 27.3	1,492	0.4
V	営業外費用	1,652	0.6	1,402	0.4	△ 250	△ 15.1	2,609	0.6
	経常利益	13,142	4.4	13,562	4.4	420	3.2	15,616	4.0
VI	特別利益	278	0.1	4,031	1.3	3,752	—	380	0.1
VII	特別損失	1,827	0.6	387	0.1	△ 1,440	△ 78.8	2,112	0.6
	税金等調整前四半期 (当期)純利益	11,594	3.9	17,207	5.6	5,613	48.4	13,883	3.5
	法人税等	5,056	1.7	7,419	2.4	2,362	46.7	6,065	1.5
	少数株主利益又は 少数株主損失(△)	△ 0	△ 0.0	2	0.0	2	—	△ 1	△ 0.0
	四半期(当期)純利益	6,537	2.2	9,785	3.2	3,247	49.7	7,819	2.0

(注) 増減は当第3四半期と前第3四半期との比較で表示しております。

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前第3四半期	当第3四半期	前連結会計年度
		(自 平成19年1月1日 至 平成19年9月30日)	(自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)	(自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日)
		金 額	金 額	金 額
I	営業活動によるキャッシュ・フロー			
	税金等調整前四半期(当期)純利益	11,594	17,207	13,883
	減価償却費	7,241	8,583	10,012
	減損損失	46	19	46
	引当金の増減額(減少:△)	2,469	1,906	467
	店舗閉鎖損失引当金の増減額(減少:△)	1,152	—	—
	未回収商品券収入	△ 179	△ 108	△ 238
	受取利息及び配当金	△ 109	△ 113	△ 138
	支払利息	20	55	22
	持分法による投資損益(利益:△)	△ 36	—	△ 11
	固定資産除却損	868	1,157	1,867
	投資有価証券売却益	—	△ 2,582	—
	売掛金の増減額(増加:△)	276	1,308	△ 601
	たな卸資産の増減額(増加:△)	445	△ 87	△ 312
	フランチャイズ店舗の買取に係る のれんの増減額(増加:△)	181	△ 336	△ 116
	その他の資産の増減額(増加:△)	973	1,389	△ 512
	買掛金の増減額(減少:△)	△ 859	△ 2,017	1,498
	支払手形の増減額(減少:△)	△ 1,312	—	△ 8,399
	未払費用の増減額(減少:△)	△ 427	△ 913	△ 142
	その他の負債の増減額(減少:△)	△ 301	△ 8,101	8,170
	その他	0	27	△ 4
	小計	22,044	17,393	25,491
	利息及び配当金の受取額	40	38	43
	利息の支払額	△ 6	△ 47	△ 14
	法人税等の支払額	△ 1,287	△ 8,866	△ 1,183
	営業活動によるキャッシュ・フロー	20,790	8,518	24,337
II	投資活動によるキャッシュ・フロー			
	店舗設備等の取得による支出	△ 14,500	△ 13,935	△ 22,831
	店舗設備等の売却による収入	995	4,552	1,803
	投資有価証券の売却による収入	—	2,702	—
	投資有価証券の満期償還による収入	250	—	250
	出資金の回収による収入	—	0	209
	敷金・保証金の差入れによる支出	△ 1,189	△ 1,569	△ 1,685
	敷金・保証金の回収による収入	3,100	3,006	4,824
	情報システムの開発による支出	△ 2,515	△ 6,846	△ 4,157
	その他	△ 282	△ 63	△ 269
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,142	△ 12,152	△ 21,855
III	財務活動によるキャッシュ・フロー			
	短期借入れによる純増減額	△ 500	5,000	2,000
	配当金の支払による支出	△ 3,894	△ 3,879	△ 3,902
	自己株式の取得による支出	—	△ 0	—
	少数株主からの払込による収入	90	—	90
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,304	1,120	△ 1,812
IV	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 16	△ 2
V	現金及び現金同等物の増加額(減少額:△)	2,341	△ 2,529	666
VI	現金及び現金同等物の期首残高	11,338	12,005	11,338
VII	現金及び現金同等物の期末残高	13,680	9,475	12,005